日本医学シミュレーション学会の活動

医療安全に向けて行動目標に関連したセミナーを実施

日本医学シミュレーション学会
事務局長　上農喜朗

日本医学シミュレーション学会（Japanese Association for Medical Simulation：JAMS）は、医学シミュレーションを通して、医学教育、臨床医学、医学研究、医療の安全管理に貢献することを目的として、2005年4月1日に発足しました。発足以来、周術期の危機的状況・救急・院内急変への対応訓練のためのセミナーを実施しています。

Japanese Association for Medical Simulation

［主なセミナー］

〈１〉Difficult Airway Management（DAM）実践セミナー

日本麻酔科学会気道管理アルゴリズム・米国麻酔科学会困難気道アルゴリズムに基づく周術期の気道管理に関する教育セミナーです。技術の習得だけでなく周術期管理チームの教育訓練を目的としています。2004年開始以来、40回開催し、麻酔科医・救命救急医・集中治療医を中心に呼吸管理に関わる医師と看護師600名以上が受講しています。日本麻酔科学会専門医申請単位認定講習会です。（行動目標6・9）

〈２〉高機能患者シミュレータ（HPS）セミナー

高機能患者シミュレータは生理学・薬理学モデルに基づいて生体の反応を再現することができます。このシミュレータを用いて患者を再現し、実際に治療することを通して、知識を確認し病態を理解します。さらに、緊急時の意思決定のプロセスを習得し、医療チームとしての行動訓練を行うことを最終目標としています。（行動目標1・2・5b・6・7・9）

〈３〉Central Venous Catheterization（CVC）実践セミナー・指導者養成コース

安全に中心静脈穿刺を実施するための理論と実際を習得するためのコースです。指導者養成コースでは地域や施設で中心となって実践セミナーを開催する指導者を養成します。（行動目標3b）

このほか「臨床初期研修医セミナー（行動目標3b・5b・6）」「院内急変チーム（MET）セミナー（行動目標6）」「セデーションセミナー（行動目標1）」なども実施しています。

［日本医学シミュレーション学会総会］

シミュレーション教育に携わっている医療関係者による研究発表、新しい教育プログラムの提案とカリキュラム作成、シミュレーション教育に関する情報交換を行い、各種セミナーの指導者養成コースも併催しています。

第7回JAMS総会は2012年1月7-9日、和歌山県田辺市Big-Uにおいて開催予定です。